

子どもの目 子どもの心

1年生

道徳「みみずくとお月さま」を学習しました。この学習は、『もぐらを助けるために飛び立とうとしたみみずくの気持ちを考えるを通して、よいと思ったことは、勇気を出して進んで行おうとする態度を養う』ことをねらいとして学習しました。

学習を終えての子ども達のひとこと感想です。

- ぼくは、みみずくのように勇気を出して助けようと思います。
- わたしは、いたちのよくないことはわかるけど、なかなか言えません。
- みみずくが、勇気を出して助けたところがえらいなあと思いました。
- せっかくもぐらたちが勉強をしているのに、邪魔をするいたちはよくないと思います。
- みみずくは、えらいなあ。自分だったら助けられるかな。
- みみずくがもぐらを助けたのがすごいです。自分も困っている人を助けます。
- もぐらがたのしくべんきょうしているのに、みみずくはどうしていじわるをするのかな。ぼくは、「だめだ。」といわないといけないけど言えるかな。

学校では、毎日のように子ども達の中でいろいろなことがおこります。いろいろなことを経験する中で、自分がすべき「正しいこと」を学んでいくはずですが、毎日が穏やかな生活が送れることはもちろんいいことですが、時には理不尽なことに出会った時に、どのように自分が接していったらいいか、また相手の気持ちを考えて行動ができるか等を学んでいく機会になるかもしれません。

1年生の子ども達も小学校生活に慣れ、いろいろ経験してきました。自分も友だちも大切にするには、どうしたらいいのか等、多くを学んできたことでしょう。やさしくおもしろい心をもって、友だちと楽しくすごしてほしいものです。